



今年、明治になって150年にあたります。江戸時代末期のペリー来航を転機として幕府は倒れ、明治新政府によって中央集権国家が樹立されます。

明治政府による近代国家づくりは、欧米諸国の社会システムの導入による各種制度の充実と、新しい技術を導入した土木・鉄道・通信といった基盤(きばん)の整備に始まります。また、殖産興業(しょくさんこうぎょう)に向けて機械工業化を行い、生産物を増やし、輸出入を増大させていきます。

近代日本の発展のためには、人々の力が不可欠でした。江戸時代までは幕府や藩に依存していた様々な階層の人々の生計は、明治期になり自立を余儀なくされます。その中で、起業をする人や商業範囲を広げる人などが現れ、さまざまな分野で人々の活躍が見られるようになります。文明開化は、生活上の表面的な変化だけでなく、商工業や農林水産業などの実業をも確立させていきました。江戸時代の知識と技術を西欧の文化に融合させ、新時代を築いていった数々の人々の力を展示します。

## 1章 文明開化とは？

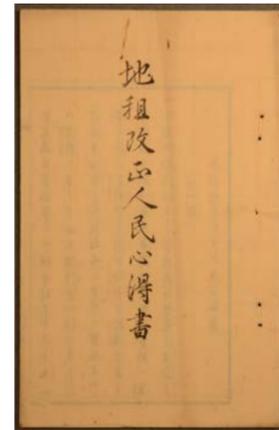
### 1節 江戸時代末期から明治期へ

江戸時代末期に幕府は開国し、貿易が始まります。約10年後に江戸幕府は終わりを告げ、明治新政府が発足し、日本の近代化が始まります。

明治政府は廃藩置県による中央集権国家の確立を図り、身分制を撤廃(てっぱい)し、西欧的な貨幣(かへい)制度や教育制度を整え、地租改正・土木・鉄道・通信といった基盤(きばん)整備を行いました。



改暦弁(セイコーミュージアム蔵)



地租改正人民心得書(館蔵)

### 2節 さまざまな生活の変化

開国によって欧米諸国の様々な文物が生活に取り入れられます。明治期のこの西洋化の現象は文明開化といわれ、伝統的な生活は都市部から急速に変化を遂(と)げます。文明開化では、生活に関わるあらゆるモノだけでなく、世の中の人々の考え方も変えていきました。



開化旧弊興廃くらべ(郵政博物館蔵)



電話機(野田市立中央小学校教育史料館蔵)

## 2章 産業振興と貿易

### 1節 幕末の産業振興と販売戦略

幕末の横浜などの開港に伴い、幕府だけでなく財政難にあったさまざまな藩は、産業を盛んにして領内の産物の生産量を増やし、海外へ輸出しました。

また、西欧諸国への視察も積極的に行われました。



パリ万国博覧会幕府使節団一行  
(渋沢史料館蔵)



物産会所跡(旧境小学校校舎)  
(堺町歴史民俗資料館蔵)

2 節 明治期の官営事業

明治政府は、度量衡基準・貨幣制度の統一、暦法の改正など各種制度の確定を行いました。また欧米諸国から専門家を招聘し、近代的な機械制工業を盛んにし、鉄道・通信網を整備し、資本主義の育成を図る殖産興業を遂行しました。



渋沢栄一の肖像  
(渋沢史料館蔵)



富岡製糸工場(放送大学附属図書館蔵)

3 節 民営事業の発展

明治中期になると、官営事業に振るわない分野が増え、民間への払下げが始まります。

民間企業は、江戸時代から培(つちか)っていた技術と欧米の技術を融合し、企業努力の甲斐(かい)もあり、成長に転ずるものも多くありました。また政府は、株式会社組織の法制化も行い、新規の民間起業の支援も行っていきます。



完成した大雄院精錬所(日鉱記念館蔵)



桐箱入り 第一号石鹸(花王ミュージアム蔵)

3 章 関宿周辺の変化

1 節 治水事業

明治期から、河川の整備は政府が行い、海・河川関係の土木技師をオランダから招き、測量を行っています。水害の多いこの地区では、明治中期にそれまで行ってきた水運の整備を目的とした低水工事から洪水対策をメインとした高水工事に切り替わりました。



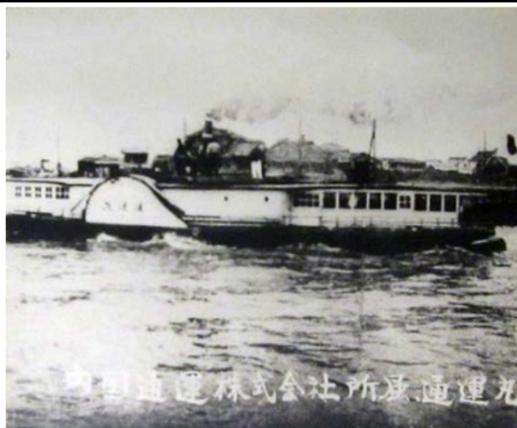
量水標(館蔵)



利根川第一期改修工事(館蔵)

2 節 輸送の変化

明治初期は舟運をメインにした輸送を行っていましたが、中期頃には鉄道網の充実が見られ、明治政府は、舟運を民営化します。利根運河会社による利根運河の建設、内国通運会社による外輪蒸気船の運航などです。また鉄道の敷設も民間企業が参入し、関宿周辺では、後に国鉄になる日本鉄道土浦線(現・常磐線)や東武鉄道(現・東武伊勢崎線)が進出しました。



通運丸就航風景(個人蔵)



東武鉄道1号蒸気機関車(鉄道博物館蔵)

3 節 企業化と商業の変化

江戸時代以来の野田の醤油醸造は機械化を、猿島茶製造は品質向上のための技術研鑽(けんさん)を行ない、輸出を積極的に行ってきました。明治23年(1890)に会社制度の法制度として「商法」が公布され、3年後に施行、その後41年(1908)に改正し、会社設立に関する法整備が出来上がります。これをうけ、野田の醤油醸造家たちはまとめ、野田醤油株式会社(現・キッコーマン株式会社)を設立しました。



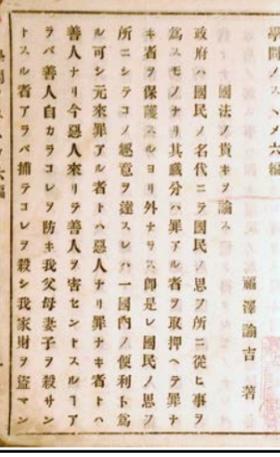
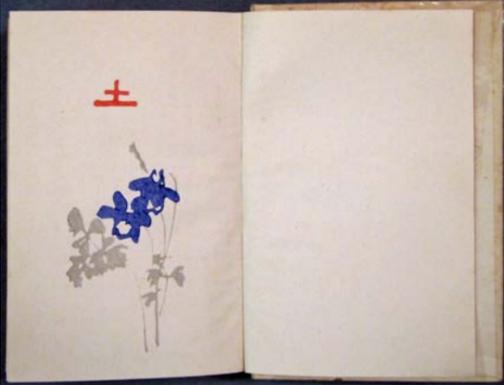
大日本物産図絵 下総国醤油製造の図(館蔵)



輸出に使われた茶壺(笠間焼)(個人蔵)

|  |  |   |
|--|--|---|
| <p>4 節 農業の変化と技術革新</p> <p>関宿周辺の埼玉県側では、養蚕(ようさん)が盛んに行われました。埼玉県は養蚕の奨励をし、明治16年(1883)に開通した日本鉄道によって横浜まで運び、輸出しました。</p> <p>また米づくりでは乾田馬耕農法(かんでんばこうのうほう)などの技術革新や農具も改良され、生産量増加が増加していきます。</p> |  |  |
|  | ボウズ(真綿のばし)(宮代町郷土資料館蔵)  | 農具便利論(館蔵)   |

4 章 「文明開化を生み出した力」と「文明開化が生んだ力」

|  |  |   |
|--|--|---|
| <p>1 節 啓蒙思想家たち</p> <p>明治期は啓蒙思想家が登場します。その代表的な存在である福澤諭吉は、合理的な考え方、批判(ひはん)的な精神を持ち、因習(いんしゅう)や迷信を打ち破り、人間性を尊重しよう、という考え方で活動しました。諭吉も所属していた明六社という啓蒙思想家の団体では、渡欧したことがある人々が中心となり、日本の教育を進歩させるために成果を広める活動をしました。</p>                               |   |   |
|  | 学問のススメ(館蔵)   |   |
| <p>2 節 教育制度の確立</p> <p>明治政府は、明治5年(1872)にフランス式教育制度を参考にした「学制」(教育についての基本的な法令)の交付を行います。その後、12年(1879)にアメリカ式教育制度の導入のために「学制」を廃止して「教育令」を交付、18年(1886)に尋常(じんじょう)小学校の設置と義務教育を4年と決定した「学校令」の交付、32年(1900)に授業料の無償(むしょう)化を実施し、教育制度の確立を行っていきました。</p> |  |  |
|  | 明治7年文部省刊行教科書(野田市立中央小学校教育史料館蔵)  | 教育勅語(野田市立中央小学校教育史料館蔵)   |
| <p>3 節 文明開化の結実</p> <p>明治期は、現在まで続く企業を作り上げた創業者たちや、音楽・美術・文学・芸能などの芸術家たち、さまざまな研究者などの文化人が活躍します。これらの人々は、江戸時代までの文化を下地とし、その上に西欧文化を融合させました。</p> <p>こうした多くの民衆の力が文明開化を結実させ、明治の文化を作り上げていきました。</p>   |  |  |
|  | 明治期に活躍した関宿周辺の文化人長塚節『土』(館蔵)   | 東都名勝圖繪「歌舞伎座」(館蔵)  |

